

小松市重点目標

未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に育成する学校

授業の質的改革 → 資質・能力を確実に身に付ける児童生徒の育成

- ①児童生徒が 主体的・対話的に学習したくなる授業
- ②児童生徒が 自己の思考を深め、自己表現したくなる授業（思考力・記述力・発表力）
- ③児童生徒が 自己の学習をふりかえり、学びを実感できる授業

組織的な体制・環境づくり → 児童生徒に資質・能力を身に付けさせる教員の育成

- ④教職員が 目標や課題を共有し自己の役割に責任を持ち、課題の解決に取り組む
- ⑤教職員が 授業力を高める。切磋琢磨し学校研究に取り組む
- ⑥教職員が 児童生徒が主体的に活動できるように環境を整える

令和元年度 学校評価重点計画

小松市立符津小学校
学校長 中村 哲

目指す児童生徒像

進んで自分の考えを表現し、振り返りや交流で深めることができる子

目標

学校研究を核とする校内研修の充実を図り、組織的学校運営のもと、指導力・授業力の向上をめざす。また、学力向上ロードマップに沿って検証・改善していきながら、自己研鑽の意識を高める。

（１）学校の現状と課題

自分の考えをもつことができる児童が増えてきたが、それを交流し深め合うための表現力が十分ではない。書いて考えをまとめたり振り返りを生かしたりすることが課題である。

（２）目標達成のための具体的な手立

- ・教材研究の充実を図り、児童が主体的になる課題提示の工夫を行う。
- ・自分の考えだけでなく交流したことや気づきもノートにまとめ交流する。
- ・振り返りを、自主勉強や次時の始まりで活用できるようにする。
- ・がんばりテストで基礎基本の定着を図り、符津っ子テストで活用力を高める。
- ・学校行事における表現活動の充実を図る。
- ・学習基盤を５つの「気」と関連付けて徹底を図る。